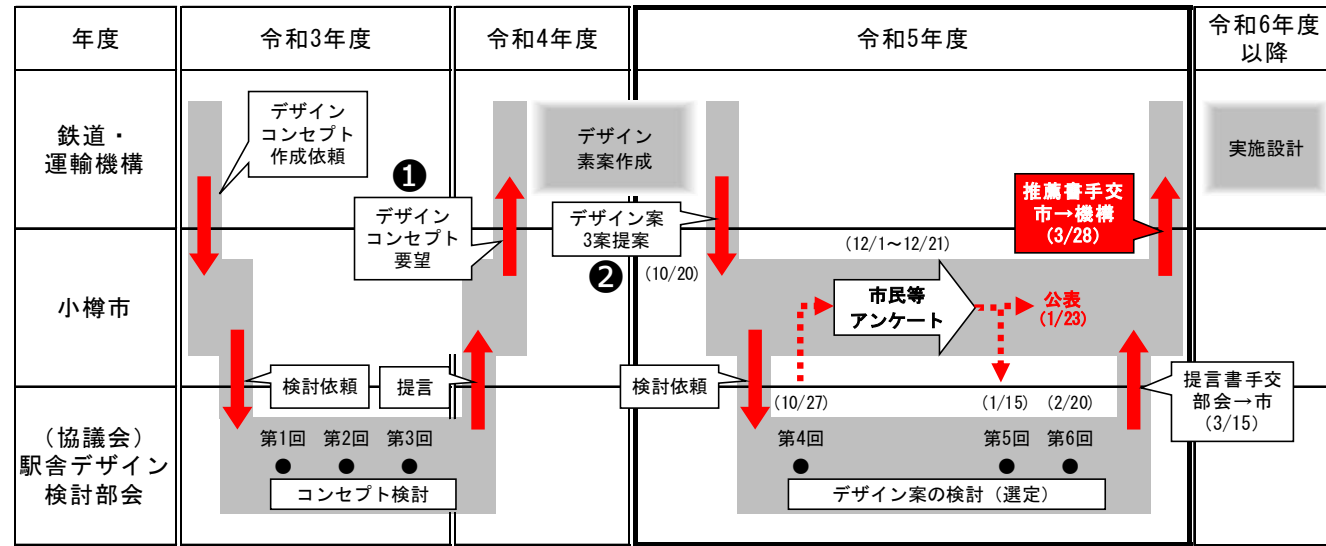


■ 新小樽（仮称）駅デザイン推薦案選定の経緯

< 駅デザイン決定（推薦案提示）までの流れ >



① デザインコンセプト要望（令和4年5月18日）

新小樽（仮称）駅 デザインコンセプト
浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅
 ～まちの記憶を未来へ～



② デザイン案 3 案提示（令和5年10月20日）

A 案
歴史の継承

小樽の歴史と懐かしさを後世に受け継ぐ品格のある駅

B 案
新旧の融合

小樽のまちの記憶を継承し、未来へ繋ぐ端整なたたずまいの駅

C 案
自然と温もり

自然に溶け込み、小樽のまちに明かりを灯す洗練された温もりの駅

○ 駅舎デザイン検討部会での協議経過等（デザイン案 3 案提示以降）

開催日	主な議題
第 4 回 令和 5 年 10 月 27 日	<p>○ 駅舎デザイン案について（3 案について説明）</p> <p>○ デザイン案の選定方法について</p> <p>➡ 12 月に市がアンケート調査を実施し、その結果を参考に部会で検討して 1 案を選定し、今年度中に市へ提言することを確認した。</p>
第 5 回 令和 6 年 1 月 15 日	<p>○ アンケート結果について（報告）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>市民等アンケート</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>小学生</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中学生</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>街頭調査</p> </div> </div> <p>A 案 ・シンプルでモダン。重厚感がある。冬でも目立つ。 ・ガラス張りは開放的で明るく、降車時に景色が広がる。外から中の構造が見えるのが良い。 ・落ち着いたデザインがどの世代にも受け入れられ、長く親しみが持てる。</p> <p>B 案 ・北前船の帆を想起させる曲線デザインが独創的。モチーフが明瞭で親しみやすい。 ・開放感、新しさがある。周辺が明るくなる色で、白い壁面が雪景色に合いそう。 ・海にまつわるデザインやレンガ調が小樽のイメージに合う。</p> <p>C 案 ・近未来的で洗練されている。未来の小樽にふさわしい。 ・窓から漏れる明かりの美しさを感じられる。「雪あかりの路」のイメージで小樽らしいおもてなし感を演出できる。</p> <p>○ デザイン推薦案について</p>
第 6 回 令和 6 年 2 月 20 日	<p>○ デザイン推薦案に関する提言書（案）について</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> </div> <div style="flex: 2;"> <p>提言書（北海道新幹線 新小樽（仮称）駅デザイン推薦案に関する提言書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推薦案 A 案とする ● 附帯意見（部会協議を踏まえ、今後検討を求めていく事項） <ul style="list-style-type: none"> ・照明による演出など、季節や時間帯による見え方の違いへの配慮 ・大きなガラス面を生かしたさらなる工夫 ・小樽らしさを感じられる内部の空間づくり ・より良い駅づくりのため、工事完了まで地域との協議の継続 など </div> </div> <p>提言書の提出（部会➡市） 令和 6 年 3 月 15 日</p> <div style="text-align: center;"> <p>提言書手交の様子 （左から上参郷副部長、迫市長、沼澤部長）</p> </div>